

【ねがいましては】

第25号

平成2年5月24日

共和珠算塾 新浜

負ける練習

先月、相田みつをさんについて、少しふれさせていただきました。

今回は、相田さんの著書「人間なもの」より、興味を引かれたものをご紹介します。

ある母親が相田さんの所へ、息子の就職のことで相談に来られた。

「我が子は、ひとり息子で大事に育てたので、骨の折れることや、体を使う仕事には向きません。また、小さな会社ですと、いつ倒産するかわかりませんので、できれば大きな会社か役所のようなところを、お世話していただきたい。」

相田さんは、この母親の話をこのように受け取ったそうです。

一、我が子にはなるべく骨を折らせたくない。その反対—他人の子ならいくら骨折してもかまわない。

二、我が子には、一生楽な生活をさせたい。途中で倒産なんていう不安な思いをさせたくない。他人の子ならかまわぬ。これは親の苦労をさせたくないという気持ちもあるので否定はできない。

相田さんは次のように結んでいます。

親は子へ、たとえ親よりも苦労することがあっても、親よりたくましく、親よりもねばり強く人生を生き抜いてゆく力と知恵とを、子どもたちに与えておく。それが一番正しい親の愛情であり義務であると思う。

その愛情の具体的方法として「負ける練習」と題してまた始まります。

負ける練習、恥をさらす練習、カッコの悪い体験を、できるだけ多く子にさせておくべきだ。子はやがて社会に出る。その時、いかに思い通りにならないことが多いか、負けることが多いか知ることになる。だとしたら、人間の体は使ったところが強くなる原理を利用すると、負ける練習を小さい時からしておくと、負けてもくじけない子になると言っています。人生におけるどんな波風、どんな屈辱にも耐えて、まっすぐに自分の道を歩んでいけるような、しっかりした「いのちの根」を作っておいてやる。それが本当の愛情だと思います。

私は、この相田さんの考えに、腕を組み考えてしまった次第です。



6月の予定

5月26日(土)	4～10級検定試験・・・共和珠算塾
27日(日)	3級以上検定試験・・・中央商業高校 朝8時10分集合 持物・・・いつもの道具・受験票・ぶんちん 交通費(小学生は200円あれば足ります) 検定終了予定・・・11:00(現地)
29日(火)	検定あとのゲームの日
6月5日(火)	検定試験合格発表

*6月中旬に第3回通信競技会が予定されています